

硬膜動静脈瘻とは

脳神経外科部長 高橋 賢吉

硬膜動静脈瘻とは、脳や脊髄を覆う硬膜という膜の中で、動脈と静脈が直接つながってしまう状態です。動脈から静脈へ勢いよく血液が流れ込むため静脈の圧力が高くなって、血流が脳や脊髄内にうっ滞したり、逆流したりして循環障害を引き起こします。このような状態が続くと浮腫や出血をきたして、意識障害、認知障害、てんかん、手足の麻痺、感覚障害などの様々な神経症状が出現します。出血がひどければ、重篤な後遺症を残したり死亡することもあります。病変の部位によっては、動脈から静脈に流れ込む速い血流が耳鳴りとして聞こえたり、拡張した静脈の近くを通る脳神経が圧迫されて、物が二重に見えるようになります。眼球への静脈に血液が逆流すると、眼球が飛び出てきたり、目が充血したり、重症の場合には視力が低下し、失明に至ることもあります。

硬膜動静脈瘻は、頭部MRI検査で容易に発見することができます。硬膜動静脈瘻が疑わしい場合には、2泊3日の入院で脳血管造影による精査を行います。

局所麻酔下で、脚の付け根の血管からカテーテルという細い管を挿入し、先端を頸部血管において造影剤を注入し、脳血管を撮影する検査です。この検査で、動静脈瘻に關与している血管や短絡部位を正確に評価することができます。

硬膜動静脈瘻の検査の目的は、動脈と静脈がつながっている部位を同定し、短絡した血流が静脈内を逆流して脳や脊髄に悪影響を及ぼしているかどうかを判断することです。短絡血流による症状があったり、静脈への逆流所見が強い場合には治療が必要です。

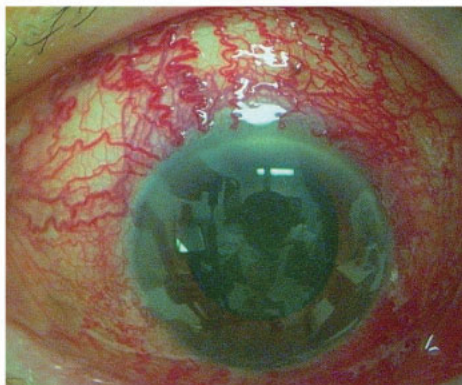
治療は主に血管内治療による塞栓術を行います。治療の目的は、動静脈瘻を閉塞もしくは減少させ、血液の逆流を消失させ

ることにより、出血を予防し、症状を改善させることです。

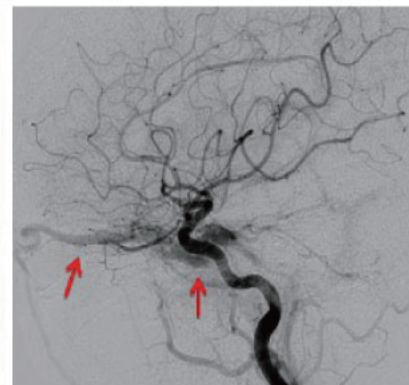
塞栓術は、動静脈瘻に流入する動脈の中へ細いカテーテルを入れて、カテーテルを通して塞栓物質を注入することで動脈を詰める(塞栓する)方法と、同様の手法で流出する静脈を塞栓する方法があります。いずれの方法でも動静脈瘻の血流が減少して静脈圧が下がり、正常血管への逆流を止めることができます。ただし、動静脈瘻の場所や流入する血管によっては難度が高くなり、適応外となることもあり、その他の方法として、定位放射線治療や外科手術による動静脈瘻離断術を考慮する場合があります。

治療せずに経過を観察する場合、症状を見ながら時々画像を撮影して動静脈瘻の形態を観察します。硬膜動静脈瘻は血流量が少ない場合、自然に治癒することもあるため、症状が軽く、脳、眼、脊髄への血液の逆流がない場合は、手術をせずに経過をみることもあります。血液の逆流がある場合には、出血するリスクも高く、長期間放置することで症状が進行性に悪化することが多いため、早期に治療することが勧められます。

眼球結膜の充血、物が二重に見える、拍動性の耳鳴りがある、その他手足のしびれや頭痛等、多彩な症状で発症することもあるため、気になる症状がある場合には、頭部MRIによる精査をお勧めしております。



眼球結膜の充血



眼静脈への短絡血流(赤矢印)

新入職医師の紹介



細川 真(ほそかわ まこと)

2021年7月に入職しました、脳神経外科の細川 真(ほそかわ まこと)と申します。よろしくお願いします。

- ◇趣味・特技: 登山、ロードバイク、旅行
- ◇好きな食べ物: 魚
- ◇患者様の人生に貢献できるよう邁進してまいります。

難聴と認知症

言語聴覚士 高野 愛莉

近年、難聴と認知症の関連性が注目されています。2020年、世界的に権威のある医学誌ランセットは、認知症の予防可能な危険因子の中で、最大の危険因子は難聴だと発表しました。

難聴=認知症ではありませんが、難聴で人の話が聞こえにくくなると、会話をする機会や楽しみが減って人との交流が億劫になり、家族や社会から孤立してしまうことで認知機能の低下に繋がる可能性があります。また、難聴で聴覚刺激や脳に伝わる情報量が減少すると、脳が萎縮する可能性も指摘されており、これらが認知症の発症に影響するのです。

従って、難聴への対処が認知症の予防となることがわかります。周りの人は、「聞こえていない」と決めつけず、難聴の方が会話への意欲を失わないよう工夫しましょう。少し大きめ、低めの声でゆっくりと簡潔に話すこと、表情を見せ、ジェスチャーや筆談を交えること等、少しの工夫で会話の質が向上し、脳を活性化できます。また、補聴器も対処法の一つです。昔に比べ細かい音の調整や、雑音・ハウリングの抑制機能が向上したほか、小型化が進み、デザインやカラーも豊富で見た目にも配慮されているため、使いやすくなっています。

このように、難聴を決して放置せず、積極的に認知症リスクを減らしていきましょう。



はつき
葉月

旧暦では秋、「葉落ち月」が「葉月」となりました。
ご先祖様をお迎えする「お盆」、日本各地で様々な行事が行なわれます。

十二節気

大暑
たいしよ

8/2~6(第三十六候) 大雨時行 / たいうときどきふる

夏の強い陽ざしにモクモクと涌く入道雲一夕立が降る季節です。
涼しい音色の風鈴~♪そのルーツは仏堂や塔の軒下に吊り下げられている「風鐸」といわれます。その音色が届く範囲は清浄であるとのことから。暑さも災いもはらってくれる風鈴の音です。



十三節気

立秋
りっしゅう

8/7~11(第三十七候) 涼風至 / すずかぜいたる

暑い夏の風に交じって、朝夕は少し涼しい風が感じられる頃。夏から秋へ移り変わる空を「行き合いの空」と呼びます。雲の形、空の色、吹く風に夏と秋が交差してドラマチックな風景に感動しますね。



夏バテの不調には、ぬるめの湯船に浸かりゆつくりとリラックス♪

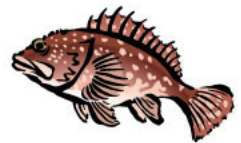
8/12~17(第三十八候) 寒蟬鳴 / ひぐらしなく

カナカナカナ...♪夏の終わりを感ずるヒグラシの音が響きます。秋の七草の一つ「撫子」。初夏から秋にかけて長い期間咲き続けるので、平安時代には「常夏」とも呼ばれ、源氏物語に「常夏」の巻名もみられます。英名は「Pink」。ギザギザに切る=ピンキングも撫子の花に由来します。

なでしこ

8/18~22(第三十九候) 蒙霧升降 / ふかききりまとう

街中では出会うことはむずかしいですが、朝晩の冷たい空気に森や水辺に白く霧が立ちこめます。秋の気配ですね。ギョロツとした目にごつごつした体形の「笠子」。関西では「がしら」と呼ばれ、煮つけに唐揚げに美味しいですね。身の締った上品な白身魚で釣り人にも人気です。



十四節気

処暑
しよしよ

8/23~27(第四十候) 綿柎開 / わたのはなしべひらく

葵のようなクリーム色の花の「綿」。綿の実(コットンボール)がはじけて飛び出します。子供の守り神とされた地藏菩薩。関西では、8/23、24に子供達を中心となり地藏菩薩を祀る「地藏盆」が行なわれます。なつかしい風景を思い出す方々も多いのではないのでしょうか。^_^



「処」とは落ち着くという意味の漢字です。見上げる空にはひびくじ雲。

8/28~9/1(第四十一候) 天地始肅 / てんちはじめてさむし

暑さもようやく収まってくる頃です。「野分」は昔の台風の呼び名です。近年は英語の「typhoon」に台風と漢字をあてました。国際的な名前は、日本を含む14ヶ国が加盟する「台風委員会」が命名。各国が10個ずつ提案した140個の中から選ばれます。ちなみに日本は「コイヌ」「ヤギ」「コト」「ウサギ」など星座名を提案しています。



スイカ(西瓜) ウリ科・つる性・一年草 和名:スイカ(西瓜) 英名:Watermelon

暑い夏の日、冷たいスイカは美味しいですね。「夏の果実の王様」♪
縞模様には赤い果肉のカラーにも元気があふれています。その95%は水分、砂漠では水分補給として重要でした。南アフリカ原産で中央アジアなど内陸乾燥地帯を中心に発達。日本にはあの「鳥獣戯画」(鳥羽僧正(1053~1140)作)にスイカのような果物を持っているウサギが描かれているそうです。平安時代には渡来していたということになり、古い歴史があります。スイカの栄養素は、シトルリン(むくみ改善)、リコピン(トマトよりも多い!)、ベータカロチン(とても豊富、新陳代謝)、カリウム(アンチエイジング)など豊富に含まれていることをご存知でしたか?朝食に2切れ(200g)がオススメです。



外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	大西(宏)	久我	西岡	—
	午後	—	大西(宏)〈血〉	久我	西岡	—
2診	午前	高橋	砂田	角田	前岡	担当医〈血〉
	午後	高橋〈血〉	脊椎・脊髄外来 山本	角田	前岡	脊椎・脊髄外来 山本
3診	午前	担当医	担当医	担当医	富士井	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
6診	午前	—	神経内科 小坂田	神経内科 赤谷	—	神経内科 小坂田
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	神経内科小坂田 (FUS)	脊椎・脊髄外来 山本	第4週 てんかん 田村 第1・3週 神経内科 森原 第4週 てんかん 田村	—

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 ※毎週金曜日13:00~ 7診 麻酔科 鈴木 (2021.8)

連携協力医療機関のご紹介 (No.228)

実風会心療クリニック

院長:木村 勲生



【認定資格・所属学会・専門医】精神保健指定医、認知症サポート医

【診療科目】精神科・心療内科

【住 所】神戸市垂水区歌敷山1-2-3

【電 話】078-709-2908

診療時間	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:00~12:00	木村 精、サ	木村 精、サ	/	木村 精、サ	木村 精、サ	木村 精、サ	/
13:30~17:00	木村 精、サ	木村 精、サ	/	木村 精、サ	木村 精、サ	/	/
17:00~19:00	森(★) 精、認	元木(★) 精	/	荒賀 精	宮軒 精、認、サ	/	/

休診日:土曜午後、水曜、日曜、祝日

【★】は女性医師、「精」は精神保健指定医、「認」は認知症専門医、「サ」は認知症サポート医です。初診の方は基本的に予約制



木村院長からのメッセージ

うつ病や不安障害、認知症の周辺症状等に対し、訪問看護やショートケア、心理面接といった診療以外の機能も備えたクリニックです。漢方治療も行っています。

連携協力医療機関のご紹介 (No.229)

さくま透析クリニック

院長:佐久間 孝雄



【認定資格・所属学会・専門医】日本透析医学会、日本移植学会、日本泌尿器科学会専門医、ICD(インフェクションコントロール(感染制御)ドクター)資格

【診療科目】透析内科

【住 所】神戸市西区枝吉5丁目156

【電 話】078-924-3939

血液透析

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:00~14:00	○	○	○	○	○	○	/	○
14:00~20:00	○	/	○	/	○	/	/	○

休診日:火曜・木曜・土曜午後、日曜



佐久間院長からのメッセージ

「笑顔で、元気に長生き」を目指して透析診療を行っています。大西脳神経外科病院には、脳卒中発症時など常に迅速なご対応を頂き、大変感謝しております。



〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1

TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp <http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

発行責任者:理事長 大西 英之 編集責任者:院長 久我 純弘

